

東邦大学学術リポジトリ

Toho University Academic Repository

タイトル	編集後記
別タイトル	EDITORIAL POSTSCRIPT
作成者（著者）	東邦大学医学会編集委員会
公開者	東邦大学医学会
発行日	2021.12.01
ISSN	00408670
掲載情報	東邦医学会雑誌. 68(4).
資料種別	その他
著者版フラグ	publisher
メタデータのURL	https://mylibrary.toho u.ac.jp/webopac/TD57765960

第 68 巻の広告掲載会社名および商品名

アステラス製薬 (株)	田辺三菱製薬 (株)
(株) 大塚製薬工場	イノラス

(ABC 順)

編集委員会

編集委員長：中野裕康
編集委員：赤羽悟美 弘世貴久 池田隆徳
狩野修 片桐由起子 近藤元就
内藤篤彦 南木敏宏 佐藤二美
高橋寛 和田弘太
編集顧問：伊豫田明 津熊久幸

(ABC 順)

編集後記

新型コロナウイルス感染症のパンデミックは全国の臨床医の高い技術と献身的な診療，そして新しい科学技術が生み出したワクチンによりようやく終息への道筋が見えてきました。今回のパンデミックは時々刻々と変化する状況への日本社会の対応能力を試す試金石にもなりました。終息への道筋が見えてきた中，コロナ禍で明らかになった日本社会の問題点を顧みること重要かもしれません。

さて，東邦大学医学会雑誌第 68 巻第 4 号には第 158 回例会で眼科学教室の堀教授が開催した「東邦大学における AI 医療の可能性について」と題したシンポジウムに御登壇いただいた先生方の記事が掲載されています。

AI=人工知能という言葉聞いて想像する内容は人によって異なるかもしれませんが，現在ブームになっている AI は，ICT 技術の発達が生み出す膨大な量の情報を，飛躍的に計算能力が向上したコンピューターと次々に発表される新しいアルゴリズムで処理する技術を指しています。AI は人間では処理できない大量の情報の中から，人間では想像できないようなパターンを検出することが可能なので，医療を含めた社会の様々な局面における情報の分析と情報に基づく判断に利用されることが期待されています。

「失敗の本質（中公文庫）」は第二次世界大戦における日本軍の敗戦の原因について，組織論的に分析した名著です。同著では日本軍に代表される日本の組織の問題点がいくつか指摘されていますが，その一つに「情報の軽視」が挙げ

られています。今回のコロナ禍への日本社会の対応でも，偏りのある情報に基づく判断や忖度に基づく情報の報告といった，権威に阿って情報を上手に活用できない日本的組織の一端が見受けられたように思います。

AI 技術は偏りや忖度なしに情報を処理し，情報から合理的に推測できる結果をありのまま我々に突きつけてきます。EBM でさえも簡単には受け入れることができなかった権威主義的な日本の医療・医学研究分野に，人間の想像を超える推測結果を突きつけてくる AI が受け入れられるには時間がかかりそうです。

(内藤篤彦)

東邦医学会雑誌 第 68 巻 第 4 号

令和 3 年 12 月 1 日発行

編集兼 中野裕康
発行人

〒143-8540 東京都大田区大森西 5 丁目 21 番 16 号
東邦大学医学部 2 号館 M1 階 医学メディアセンター内

東邦大学医学会

(振替口座 00190-6-95793)

tel. 03-3762-4151 ex. 2465/fax. 03-3764-1642

e-mail: igakukai@med.toho-u.ac.jp

http://tms.med.toho-u.ac.jp

東京都北区西ヶ原 3-46-10

株式会社 杏林舎